

## 2014年2月

### 大学総合研究センター 設置

- 大学の教育、研究、経営の質的向上に資する自律的・持続的な大学改革を推進することが目的
- 大学の理念に基づき、高等教育に関する研究およびIR(Institutional Research) 教育手法の研究・開発・普及促進とその実践を支援

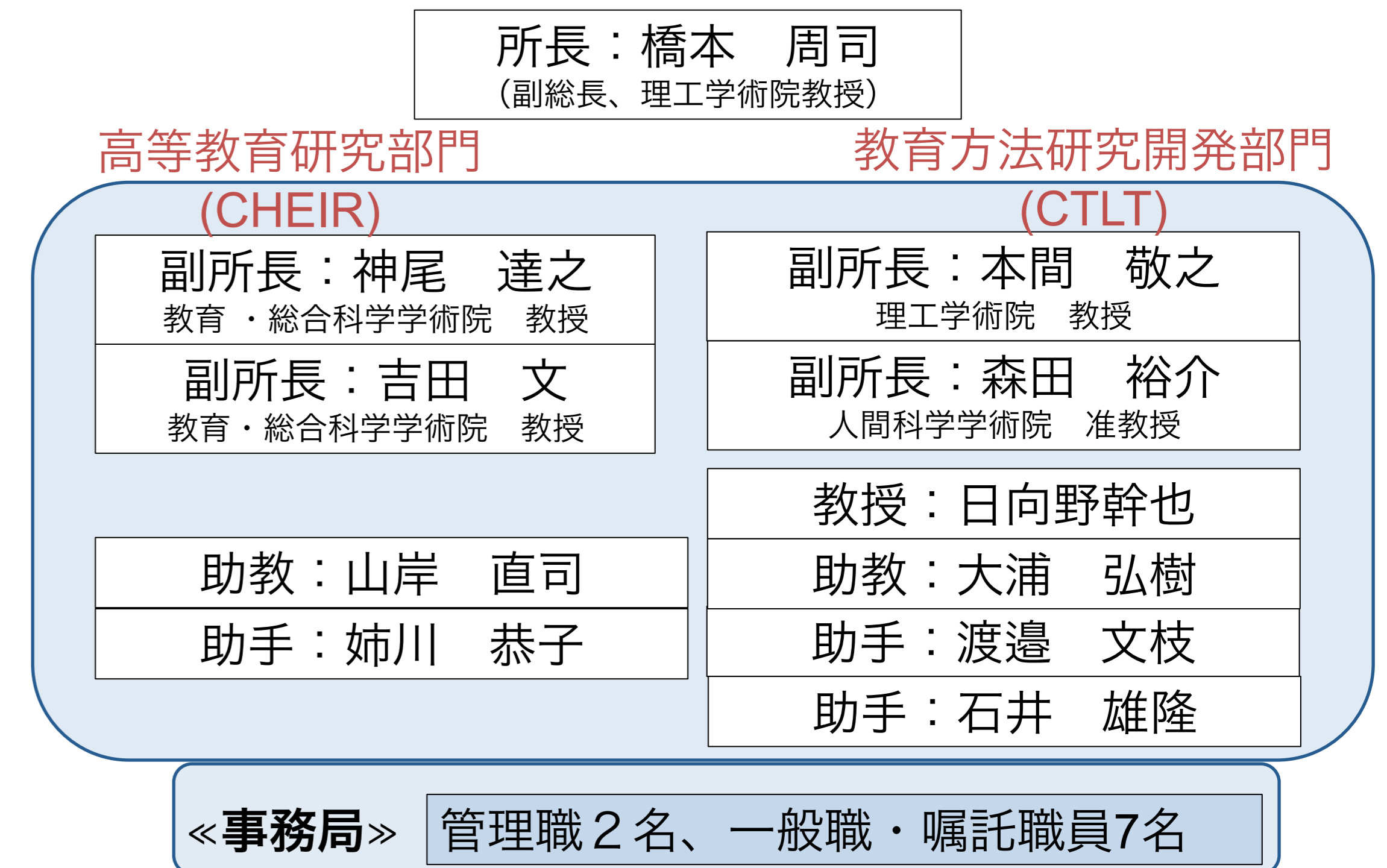


図1. センター運営体制

## 2014年10月-

### 社会的評価における早稲田大学の位置付けと戦略的ベンチマーキング

- 主に教学IRに関するデータを収集、ベンチマークを恒常的に行う仕組み作り

## 2014年12月

### 本学におけるIR実態調査の分析結果にもとづく全学的なIR推進体制構築に向けた検討

- 主に教学IRに関するデータを収集、ベンチマークを恒常的に行う仕組みの策定

## 2015年3月

### 第1回教育に関する懇談会 実施

- 学内限定のイベント
- 「データから見る早稲田大学における定員超過の現状について」と題した報告を元に、内部質保証システム向上の一貫としてデータに基づく教学IRを進めていく必要性について議論。



図2. センターの主な活動内容

## 2015年4月-

### 本学学生調査の現状把握に基づく課題と今後の調査フレームワークの検討

- 各種学生調査について他大学との比較を行いながら、本学の調査のあり方について検討

## 2015年11月-

### IR担当者連絡会 開始

- 各部局 (教務部・学生部・経営企画課・研究戦略センター、国際部など) から出席してもらい、分散型IR体制をとる。現在は月1回開催。
- 各所の課題の共有、データ分析方法・分析結果に基づく各所への還元などについて議論

## 2016年3月

### 第2回教育に関する懇談会 実施

- データに基づく教学IRの分析事例として、ベンチマークの結果や授業評価アンケートの分析事例を発表
- 発表内容を元にパネルディスカッションを行い、エビデンスに基づいた施策検討の必要性、学生の理解度向上を促すための授業のあり方などについて議論

## 2016年3月

### IRシステムの運用開始

- SAS® Visual Analytics 導入
- 統合データウェアハウスから取り込んだデータを元に学内の各種データの統計的な分析実施

## 2016年6月-

### 奨学課との共同プロジェクト実施

- SAS® Visual Analyticsを用い、大学総合研究センター、奨学課、情報企画課が協働してIRプロジェクトを実施
- 主に、入学前予約採用給付奨学金「めざせ！都の西北奨学金」受給者を対象とし、出身地や成績との関連等を分析

## 2016年9月-

### 留学センターとの共同プロジェクト実施

- Waseda Vision 150に掲げる全員留学実施に向けた施策に必要なデータの抽出

## 現在

### EMIRのためのデータ整備

- 大学本部の職員が中心となり横断的に項目の洗い出しを実施